

平成29年度当初予算において地方創生推進交付金の充当を見込んでいる事業の概要

事業名称(予算書上の事業名)	当初予算	総合戦略の位置づけ	事業概要	KPI (市総合戦略で設定)	スケジュール等の見込み
1 子育て応援サイト運営支援	2,100千円	基本目標2 「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」 ④ 子育てにおける多様な支援の充実 ④-1 子育てに関する情報発信の推進	平成28年度に「地方創生加速化交付金」の交付決定事業として実施した「東京郊外型の女性の新しい就労推進事業」の中で構築した「子育て応援サイト」について、平成29年度から運営を担う団体に補助を行うことで、以下の事業の推進を支援する。 【子育て応援サイト「こだち」の運営】 「子育て応援サイト こだち」の管理・運営を行う。 【編集会議の運営】 ママ編集員による情報発信ページについて、子育て中の市内在住の女性を編集委員として参加を得て、編集会議や研修の場を設け、円滑なサイト運営に資するようにすると共に、編集委員のスキルアップを図り、在宅ワークに必要なスキルアップにつなげるようにする。編集事務局として、ママ編集員の記事内容チェックを含め進行管理等も行う。	子育て情報発信サイトのアクセス数 0件→150,000件 (平成31年度末)	・サイトの保守・管理 (通年) ・行政情報ページについて、リンク等最新状況の確認 (年1回以上) ・編集会議の実施 (月1回程度)
2 子育て中の女性の就労促進事業	8,609千円	基本目標3 「地域力・民活力の高いまちをつくる」 ① 市内における“しごと”をつくる ①-4 子育て中の女性の就労促進	平成28年度に「地方創生加速化交付金」の交付決定事業として実施した「東京郊外型の女性の新しい就労推進事業」の中で構築した仕組みについて、平成29年度から運営を担う団体に補助を行うことで、以下の事業の推進を支援する。 【ビジネススキル研修等の実施】 就労を希望する市内在住の子育て中の女性を対象としてICTやライティングなどのビジネススキル研修等を実施し、在宅での就労や再就職支援を行う。 【コワーキングスペース すだちの運営】 テレワークステーションの運営、創業支援の取組、創業やテレワークにつながる各種研修の実施、その他コワーキングスペースの有効活用等による運営を行う。 【就労プロデューサーの配置と育成】 小平市の実情にあった仕事の受発注を行い、在宅ワークを希望する市内在住の子育て中の女性に仕事を割り当て、進行管理や納品物の品質管理を行う調整役である「就労プロデューサー」を配置する。また、在宅ワークの仕事の創出・業務の受発注をコーディネートできる、地域における推進役となる人材の育成を行う。	在宅ワークによる新規就労者数(内定含む) 0人→50人 (平成31年度末)	・テレワーク、就労プロデューサー、その他起業や就労につながるスキルアップ研修等を実施。(各月1回以上。週1回以上は何らかの研修を実施。) ・ワンダーキッチンやワンダーサロンの利用希望者面接等(随時)。利用開始後の相談応対も随時実施。 ・テレワーク等の業務開拓
3 創業支援事業	4,178千円 (うち交付金事業 954千円)	基本目標3 「地域力・民活力の高いまちをつくる」 ① 市内における“しごと”をつくる ①-1 創業に対する支援	【創業相談窓口等】 市内金融機関と連携し、市庁舎内での創業希望者に対し創業相談窓口(月1回)、商工会や金融機関と連携して実施する創業セミナー(年2回程度)及び創業塾(年2回)を実施する。 【チャレンジジョブ事業】 駅周辺の空き店舗解消を目指すとともに創業の後押しをする商工会が実施主体のチャレンジジョブ事業(創業者に対しての家賃補助)を実施する。	認定創業支援事業による支援を受けた件数 74件→156件 市内の創業比率 1.78%→2.00% (平成31年度末)	平成29年4月以降 「個別相談窓口」を毎月実施予定 平成29年上半期 創業セミナー →創業塾 →チャレンジジョブ事業を実施 平成29年下半期 創業セミナー →創業塾 →チャレンジジョブ事業を実施